法政大学赤松研究室

つくばお風呂プロジェクト

Ofuro project in Tsukuba

――つくばの記憶を伝承し、
地域の人と観光客をつなぐお風呂

石垣の上から見た様子

浴槽から中庭を見る

蔀戸で外部と繋がる

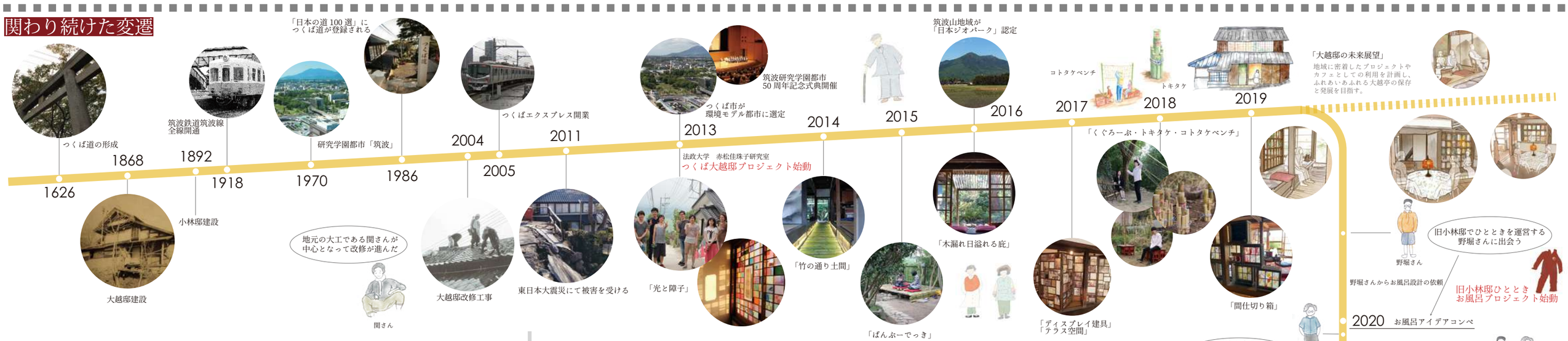
ひとときの湯
ゆるりら

筑波山麓にある古民家宿、旧小林邸ひとときにて、お風呂を設計・施工しています。筑波の方のご協力をいただきながら、プロジェクトが進んでいます。

10年目を迎えるつくばプロジェクト

赤松研究室発足から10年続くつくばプロジェクト。始まりはつくばにある小さなお屋敷、大越邸でした。そこでのワークショップや改修、秋祭りを通して少しずつ筑波の人と関わりながら関係を深めていきました。つくばに育てていただいた恩を返すべく、現在は基盤としていた大越邸を離れ、近くの「旧小林邸 ひとときき」という民泊に拠点を移しました。お風呂の設計を通して地域の人に加えて、観光客にも筑波を楽しんでもらえるようにしたい。赤松研究室の10年目の新しい挑戦です。

関わり続けた変遷



建築を通した地域活性化への試み

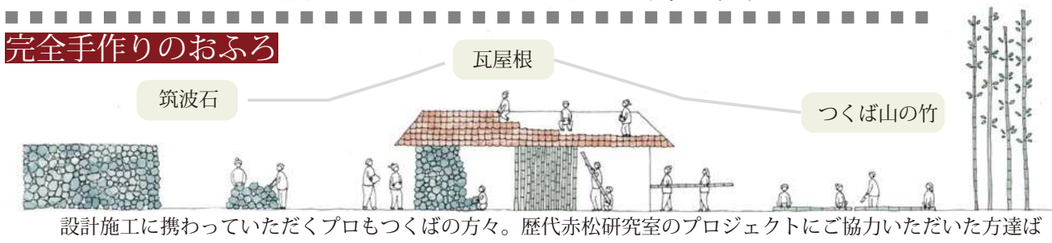
設計・デザイン

研究室内での2020年度のアイデア構想、2021年度の設計コンペを経て、３世代のゼミ生みんなで設計したお風呂。宿泊客のみならず地元住民や観光客も利用できるものとし、旧小林邸を中心に筑波山麓を活性化できるような提案を目指します。

１０平米という小さな計画の中で、中庭を介して２棟に別れた構成は小さいながらも開放的なおふろ空間を作り出しています。竹、筑波石、瓦屋根、竹あかりなど、つくばの地元ならではの素材を用い地域産業に根付いた計画をしています。
中庭はおふろとしての利用時には蔀戸を閉じ、プライベート空間を楽しむ場として、利用外では、蔀戸を開け放ち、外部と連続することにより、縁側空間が地域のささやかなコミュニティの生まれる場を作り出します。

プロジェクトを通してつながる地域の関わり

完全手作りのおふろ



６班に分かれ、良い案がたくさん出ました

実施図面作成 / 施工開始　2022

設計施工に携わっていただくプロもつくばの方々。歴代赤松研究室のプロジェクトにご協力いただいた方達ばかりです。そして、力作業の施工は、助けをいただきながら、赤松研究室の学生が全て行っています。
つくばと、私たちの完全手作りのお風呂。少しづつですが、私たちの愛を詰め込みながら完成に近づいています。

長年続くプロジェクトから出会いの連鎖

筑波山の大工
関さん
地元民なら知らない人はいない！
大越邸の修復で出会い、長年の付き合いから、おふろの施工を指導していただいています。

つくばの設計士
大類さん
野堀さんのご紹介で設計図の書き方など指導してくださっています。

給排水設備の
嶋田さん
ひとときの繋がりで、おふろの給排水設備を指導していただいています。

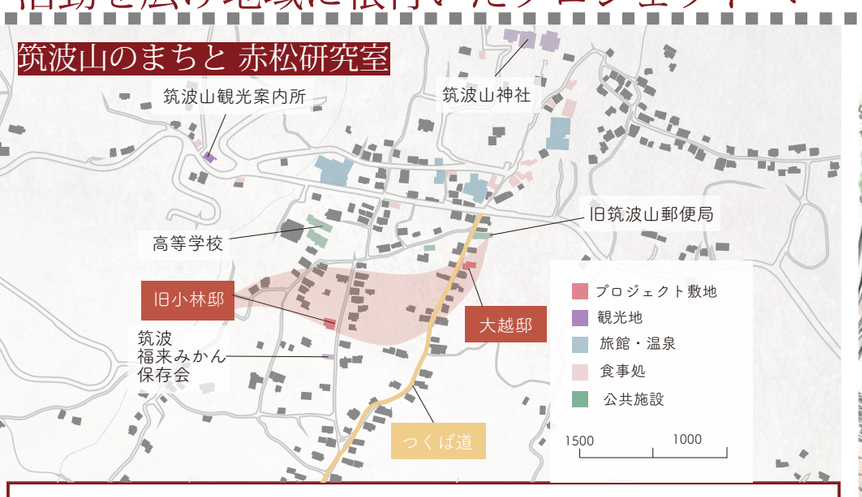
旧小林邸「ひとときき」オーナー
野堀さん
つくば道のご近所さんからつながっていき、おふろの設計施工を頼まれました。
つくば山を盛り上げようとおもしろいプロジェクトをたくさんされています。

施工管理の
大塚さん
学生の右も左もわからない初めての施工を、学びとして指導してくださっています。

電気設備の
上野さん
電気設備の基礎から配線までさまざまなことをご指導いただいています

活動を広げ地域に根付いたプロジェクトへ

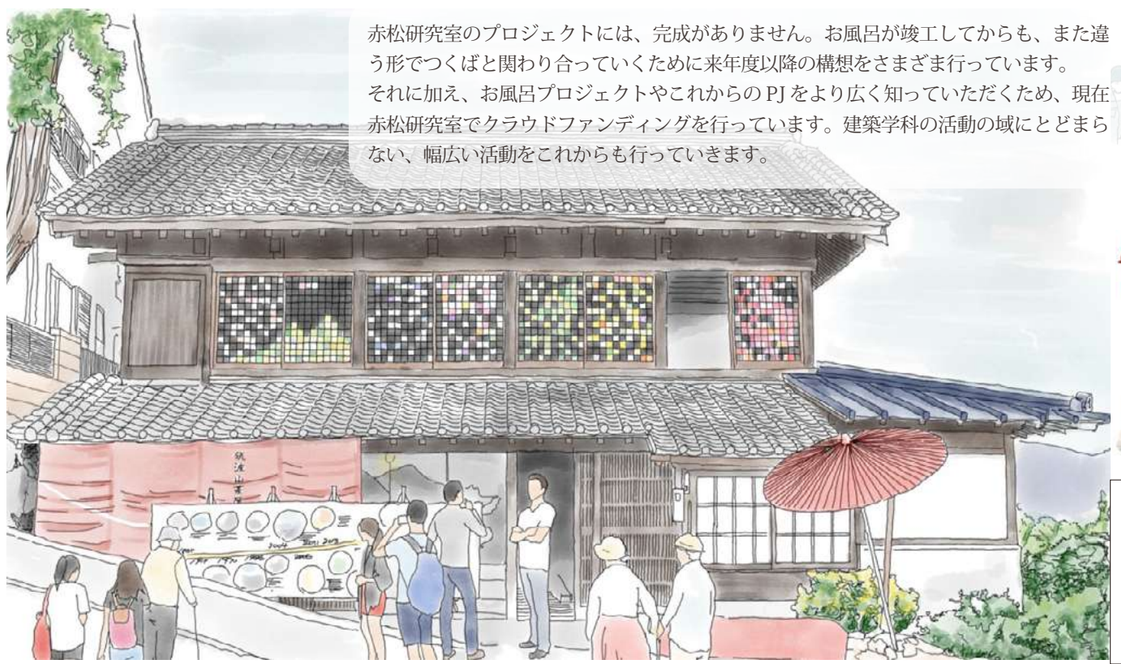
筑波山のまちと 赤松研究室



つくばPJのこれから

ワークショップやクラウドファンディングを通して

赤松研究室のプロジェクトには、完成がありません。お風呂が竣工してからも、また違う形でつくばと関わり合っていくために来年度以降の構想をさまざま行っています。
それに加え、お風呂プロジェクトやこれからのPJをより広く知っていただくため、現在赤松研究室でクラウドファンディングを行っています。建築学科の活動の域にとどまらない、幅広い活動をこれからも行っていきます。



クラウドファンディング実施中！

プロジェクトの
詳しい内容もありますので、
ぜひご覧ください！

AKAMATSU_LABO_OFFICIAL

代表者：木嶋　真子
Mail：makopping524@gmail.com